

2023 年度  
名古屋大学大学院環境学研究科  
入学（進学）試験受験案内  
（第Ⅰ期募集）

本ファイルは、「2023 年度名古屋大学大学院環境学研究科博士前期課程及び博士後期課程学生募集要項（第Ⅰ期募集）」の説明内容を補うものです。

受験に際しての各専攻の注意事項等が記載されています。

受験を希望する者は、必要な部分を熟読のうえ、出願の手続き等を行ってください。

名古屋大学大学院  
環境学研究科

# 2023 年度名古屋大学大学院環境学研究科

## 入学（進学）試験受験案内（第 I 期募集）

### 目 次

#### ●受験に際しての注意事項等

地球環境科学専攻

都市環境学専攻

社会環境学専攻

#### ●統合環境学特別コースの案内

※試験会場等の建物の場所については、

<https://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/index.html> をご参照ください。

## 受験に際しての注意事項等

### 【新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応】

- ・ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における名古屋大学の活動指針に応じて、試験実施方法や日程、試験場等を変更する場合があります。特に、対面で実施予定の試験を受験する者は、研究科ホームページを定期的に確認すること。
- ・ 対面で実施する試験を受験する者は、マスクを必ず着用の上で試験に臨むこと。

# 地球環境科学専攻

## 1. 試験場と集合時刻

### 1.1 博士前期課程

#### ○一般選抜（普通入試）及び留学生特別選抜

##### 【地球惑星科学系】第一志望分野が地球惑星科学系の志願者

名古屋大学環境総合館で行う。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染状況によっては、オンライン方式で試験を行う場合がある。この場合、環境学研究科のホームページ、各受験者宛ての文書または E-mail 等によって連絡する。

2022年8月22日（月）14:00より 筆記試験

集合場所：環境総合館3階 講義室1と講義室3

集合時刻：試験開始10分前

2022年8月23日（火）9:00より 口述試験

集合場所：環境総合館3階 演習室1と演習室2

集合時刻：試験開始10分前

##### 【大気水圏科学系】第一志望分野が大気水圏科学系の志願者

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における名古屋大学の活動指針に応じて、すべての口述試験を遠隔（オンライン）試験に変更する場合がある。また、オンライン試験については以下に示す時間以外の試験時間を設ける場合がある。

2022年8月22日（月）13:30より 口述試験（普通入試および留学生特別選抜）

集合場所：環境総合館1階111号室（第1会議室）

集合時刻：試験開始10分前

2022年8月23日（火）9:00より 口述試験（普通入試および留学生特別選抜）

集合場所：環境総合館1階111号室（第1会議室）

集合時刻：試験開始10分前

\* 口述試験は遅刻を認めない。

#### ○一般選抜（自己推薦入試）

口述試験の際、卒業研究の内容や入学希望分野で研究したい内容、自己アピールしたい点などについて5分以内で発表する。その後、発表内容について、質疑応答を行う。なお、発表には白板とPCプロジェクターを使用できる。また、Microsoft Power Point 2016以降をインストールしたパソコン（OS：Windows）が用意されている。

##### 【地球惑星科学系】第一志望分野が地球惑星科学系の志願者

名古屋大学環境総合館で行う。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染状況によっては、オンライン方式で試験を行う場合がある。この場合、環境学研究科のホームページ、各受験者宛ての文書または E-mail 等によって連絡する。

2022年8月23日（火）13:00より 口述試験

集合場所：環境総合館3階 演習室1と演習室2

集合時刻：試験開始10分前

## 【大気水圏科学系】第一志望分野が大気水圏科学系の志願者

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における名古屋大学の活動指針に応じて、すべての口述試験を遠隔（オンライン）試験に変更する場合がある。また、オンライン試験については以下に示す時間以外の試験時間を設ける場合がある。

2022年8月22日（月）13：30より 口述試験（自己推薦）

2022年8月23日（火）9：00より 口述試験（自己推薦）

集合場所：環境総合館1階111号室（第1会議室）

集合時刻：試験開始10分前

\*口述試験は遅刻を認めない。

## 1.2 博士後期課程

### ○一般選抜、留学生特別選抜及び社会人特別選抜

#### 【地球惑星科学系】

口述試験は名古屋大学内の試験会場で受験する対面式で行う予定だが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染状況によっては、オンライン方式を採用する可能性もある。この場合、環境学研究科のホームページ、各受験者宛ての文書またはE-mail等によって連絡する。修士学位論文などの研究内容と入学後の研究計画について15分の発表を課した後、専門に関する能力について、約15分の口頭試問を行う。また、名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻地球惑星科学系以外からの志願者については、口頭試問の中で語学力（英語）の能力も審査する。なお、発表にはPCプロジェクターと白板を使用できる。また、Microsoft Power Point 2016以降をインストールしたパソコン（OS: Windows）が用意されている。

2022年8月22日（月）9：00より 口述試験

集合場所：環境総合館3階演習室1

集合時刻：試験開始10分前

#### 【大気水圏科学系】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における名古屋大学の活動指針に応じて、すべての口述試験を遠隔（オンライン）試験に変更する場合がある。また、オンライン試験については以下に示す時間以外の試験時間を設ける場合がある。

2022年8月23日（火）9：00または13：00より 口述試験

集合場所：環境総合館1階111号室（第1会議室）

集合時刻：試験開始10分前

口述試験の内容：名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻大気水圏科学系の博士前期課程に在学中で2023年4月に後期課程へ進学を希望する志願者には、現在作成中の修士論文の内容について10分、後期課程での研究計画の内容について5分（合わせて15分以内）の発表を課す。上記以外の志願者には、修士論文もしくはこれまでの研究内容について20分、後期課程での研究計画の内容を10分（合わせて30分以内）の発表を課す。その後、発表内容について、質疑応答を行う。なお、発表にはPCプロジェクターと白板を使用できる。また、Microsoft Power Point 2016以降をインストールしたパソコン（OS: Windows）が用意されている。

\*口述試験は遅刻を認めない。

## 2. 英語外部検定試験を利用した試験科目「英語」の実施要領について（博士前期課程）

### 2.1 試験の方法

今回の試験で有効とする検定試験の種別については、募集要項「6. 提出書類」と「7. 選抜方法等」の「7.1.地球環境科学専攻」を参照すること。

### 2.2 スコアシートの提出に関する注意事項

(a) スコアシート原本の提出がない場合、試験科目「英語」の点数が零点となるので、十分に注意すること。

○地球惑星科学系の受験者は、募集要項「4. 出願手続き」と同じ方法で、封筒の表に「スコアシート在中」と朱書きし、2022年8月17日（水）必着で本研究科に提出すること。また、出願時にスコアシートが準備できている場合、志願票などの必要書類を送る封筒に同封し、本研究科に提出してもよい。なお、提出後のスコアシートの差し替えは認めない。

○大気水圏科学系の受験者は、「追加入学志願調査票（大気水圏科学系）」へ必要事項を記入し、募集要項に沿ってスコアシートを提出すること。

(b) 入試までの間に開催される TOEFL/TOEIC/IELTS の試験の回数は限られているので、これから受験する者は試験開催日程に注意すること。

(c) 受付可能なスコアシートについては募集要項を確認すること。

例えば、IELTS ジェネラル・トレーニング、TOEFL PBT、TOEIC IP のスコアは受け付けないので、注意すること。

### 2.3 換算方法

(a) 下記の換算表は、今回の試験における IELTS, TOEFL (iBT, ITP\*), TOEIC の間の換算の目安を示している。

(b) 下記の換算表は、地球環境科学専攻の今回の試験のみに適用されるものとする。

参考換算表

IELTS	TOEFL iBT	TOEFL-ITP*	TOEIC
7.5～	109～	630～	960～
7	100～108	600～630	870～960
6.5	90～99	575～600	800～870
6	80～89	550～575	730～800
5.5	69～79	520～550	650～730
5	61～68	500～520	580～650
4.5	52～60	470～500	500～580
4	45～51	450～470	440～500
3.5	33～44	405～450	310～440
3	29～32	390～405	270～310

\*TOEFL-ITP については、2021年12月に名古屋大学において実施した TOEFL-ITP 試験のスコアのみ受け付ける。

### 2.4 TOEFL/TOEIC/IELTS に関する詳細

下記のホームページを参照するか、または各試験の実施機関に問い合わせること。

TOEFL: <http://www.toefl-ibt.jp/>

TOEIC: <http://www.iibc-global.org/toeic.html>

### 3. 専門科目の出題範囲（博士前期課程）

ここでは、博士前期課程の一般選抜普通入試で行う筆記試験（専門科目）の出題範囲について説明する。過去に出題された問題については下記の環境学研究科ホームページに公表されている。

<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/admission/index.html>

#### 【地球惑星科学系】

地球惑星科学の基礎となる分野の以下の8問より任意の2問を選択する。

専門科目の問題名	主な出題範囲
地球環境学	気候変動、水循環、物質循環、エネルギー収支、環境容量、生態系など地球環境に関する問題。
地球科学 I	造構作用（プレートテクトニクスを含む）、地球環境と生物の相互作用、陸域および海洋域における広義の堆積学、地史および地質図学に関する問題。
地球科学 II	変成岩、火成岩、造岩鉱物、岩石組織、相平衡、地殻—マントル相互作用、岩石の変形、地球内部の温度構造、変成・火成作用とテクトニクス、およびそれらに関連する地球内部ダイナミクスについての問題。
地球科学 III	元素の起源と分布、地球表層における元素循環、同位体地球化学、年代測定法、化学平衡論、地球化学実験法に関する問題。
物理学	力学および熱力学に関する問題：[力学] 質点系の運動、剛体の運動など、[熱力学] 熱力学第一法則、熱力学第二法則とエントロピー、熱力学関数と平衡条件など。
化学	原子・分子の構造、元素の性質、化学量論、化学熱力学の基礎、化学平衡の基礎、酸・塩基平衡、酸化・還元反応、気体・溶液の性質、分析化学、有機化合物の構造と結合および反応性に関する問題。
生物学	生物学、基礎生物学に関する問題：遺伝、細胞、生理、生態、分類、系統、進化、分子生物学、機能形態、生物地理など。 参考書：エッセンシャルキャンベル生物学（丸善出版）など。
数学	解析学、線形代数学、微分方程式、確率・統計に関する問題。

## 【大気水圏科学系】

大気水圏科学の基礎となる分野の以下の7問より任意の2問を選択する。

専門科目の問題名	主な出題範囲
地球環境学	気候変動、水循環、物質循環、エネルギー収支、環境容量、生態系など地球環境に関する問題。
地球物理学	気象学・大気物理学・海洋物理学に関する問題：大気熱力学、大気放射、大気・海洋に関する流体力学、降水、大気・海洋中の物質輸送、気候変動など。 参考書：「一般気象学」第2版補訂版 小倉義光著 東京大学出版会
地球化学	大気水圏科学に関連した学部で学ぶ専門科目（地球化学・環境化学・大気化学・海洋化学など）の基本的な内容：分析化学・化学実験の基本、放射性・安定同位体の環境研究への応用、大気・海洋・陸域における化学プロセスと物質循環。
物理学	力学および熱力学に関する問題：[力学] 質点系の運動、剛体の運動など、[熱力学] 熱力学第一法則、熱力学第二法則とエントロピー、熱力学関数と平衡条件など。
化学	原子・分子の構造、元素の性質、化学量論、化学熱力学の基礎、化学平衡の基礎、酸・塩基平衡、酸化・還元反応、気体・溶液の性質、分析化学、有機化合物の構造と結合および反応性に関する問題。
生物学	生物学、基礎生物学に関する問題：遺伝、細胞、生理、生態、分類、系統、進化、分子生物学、機能形態、生物地理など。 参考書：エッセンシャル キャンベル生物学（丸善出版）など。
数学	解析学、線形代数学、微分方程式、確率・統計に関する問題。

## 4. 出願に際して

### 4.1 志望分野

#### 【地球惑星科学系】

博士前期課程（一般選抜）の出願者は、志望する分野を第2志望まで選ぶことができる。志願者は受験案内やホームページなどを参考にし、教員の研究内容等を熟慮した上で志望先を決めること。志望分野を決めるにあたっては担当教員と連絡を取り、研究室を訪問することが望ましい。（各研究室または教員の連絡先は別ファイルを参照）。なお、教員1名が受け入れることのできる学生数には上限があるため、希望する教員を指導教員にできない場合がある。

#### 【大気水圏科学系】

博士前期課程（一般選抜）の出願者は、志望する教員を第2志望まで選ぶことができる。第2志望を記入した場合には、第1志望に不合格の場合でも第2志望で合格できることがあるので、第2志望も入力することを推奨する。志願者は受験案内やホームページなどを参考にし、教員の研究内容等を熟慮した上で志望先を決めること。志望先を決めるにあたっては担当教員と必ず連絡を取り、研究室を訪問することが望ましい。（各研究室または教員の連絡先は別ファイルを参照）。また、教育上の配慮から、教員あたりの合格者数が制限される場合がある。可否は、系・講座ごとに総合的に判断するため、試験の得点順にならない場合がある。

### 4.2 2022年度および2023年度の指導教員・教育研究内容の一覧

○別ファイルを参照のこと。



# 都市環境学専攻

## 1. 都市環境学専攻の履修コース、問題選択および指導教員について

都市環境学専攻では、持続発展学系及び建築学系の教育研究内容にもとづき、持続発展学コース、建築学コースの2つの履修コースを設けている。履修コースごとに取得できる学位の分野が異なり、それぞれ修了要件が定められている。

学力検査は履修コースごとに実施し、日程、内容ともに異なる。また、併願はできない。したがって、履修コースと希望する指導教員をあらかじめ選択の上、受験する必要があるので注意すること。

各履修コースの教員名および教育研究内容を別ファイル「指導教員および教育研究内容の一覧」に示すので、受験に際しての参考にすること。なお、両コースにまたがる教育研究分野を担当している一部教員は、両コースに重複して記載している。

名古屋大学国際環境人材育成プログラム（別記 3 参照）の選抜は、持続発展学コースの入試に則って実施する。同プログラムへの参加を希望する者は、持続発展学コースを受験すること。

## 2. 博士前期課程の案内

### 2.1 持続発展学コース

#### (1) 試験日程と対象者

持続発展学コースでは、一般選抜入試は A 日程及び C 日程で実施し、留学生特別選抜入試・社会人特別選抜入試は A 日程で実施する。

一般選抜入試は、A 日程で土木工学系以外の出身者を想定した試験（文系を含めた幅広い分野の出身者が受験できるように配慮した試験）を、C 日程で土木工学系の出身者を想定した試験を実施するので、いずれかを選択して出願すること（両方受験することはできない）。

#### (2) 試験のスケジュールと試験場

##### 一般選抜（A 日程）

日付	時間	試験科目（試験方法）	試験場
2022 年 8 月 8 日（月）	9：30－11：30	専門科目（筆記試験）	環境総合館 3 階講義室 1
	13：00－14：00	小論文（筆記試験）	同上
	16：30－	面接	同上（受験生控室）

##### 一般選抜（C 日程）

日付	時間	試験科目（試験方法）	試験場
2022 年 8 月 23 日（火）	13：30－16：30	基礎科目（筆記試験）	ES 総合館 025 講義室
2022 年 8 月 24 日（水）	9：00－12：00	専門科目（筆記試験）	同上
2022 年 8 月 25 日（木）	9：00－12：00	面接	環境総合館 3 階講義室 1 （受験生控室）

##### 留学生特別選抜（A 日程のみ）

日付	時間	試験科目（試験方法）	試験場
2022 年 8 月 3 日（水）	9：00－18：00 （個別実施）	専門科目 （オンライン口述）	

社会人特別選抜（A 日程のみ）

日付	時間	試験科目（試験方法）	試験場
2022 年 8 月 5 日（金） ～8 月 12 日（金）	9：00－18：00 （個別実施）	口述試験 （オンライン口述）	

(3) 受験に際しての注意事項

【出題範囲及び使用言語等について】

- ・ 出題範囲等については、別記 1「名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻（持続発展学コース）2023 年度博士前期課程入学試験（第 I 期）学力検査出題範囲」を参照すること。
- ・ 一般選抜 A 日程の専門科目及び小論文は、日英併記で出題するので日本語又は英語で解答すること。一般選抜 C 日程の専門科目及び基礎科目は、日本語で出題するので日本語で解答すること。
- ・ 留学生特別選抜（オンライン）の専門科目は、英日併記で投影出題するので英語又は日本語で解答すること。

【対面で実施する試験について】

- ・ 一般選抜を受験する者は、試験場に試験開始の 30 分前までに入室すること。遅刻の場合、A 日程の専門科目は試験開始 60 分後、小論文は試験開始 30 分後まで入室を認める。C 日程の基礎科目および専門科目は、試験終了時刻を過ぎて到着した受験生の受験を認めない。終了時刻前に到着し、遅刻が本人の責めに帰さない場合、試験終了時刻の繰り下げを認めることがある。全ての筆記試験で試験終了時刻前の退室（早退）は認めない。面接については遅刻を認めない。
- ・ 筆記試験に際しては、黒鉛筆（シャープペンシル）・消しゴム・鉛筆削り・時計以外を使用してはならない。辞書等（電卓あるいは辞書機能付き携帯電話・時計等も含む）は使用できない。電卓に関しては、試験に必要な場合のみ大学側で準備する。

【オンラインで実施する試験について】

- ・ 留学生特別選抜及び社会人特別選抜のオンライン試験を受験する者は、必ず出願前に希望指導教員と連絡をとり、受験の内諾を得た上で出願すること。
- ・ オンライン試験を受験する者の試験日時、試験方法等の詳細については、入試担当者もしくは希望指導教員より連絡する。
- ・ オンライン試験を受験する者は、指示されたオンライン試験会場の待機室に試験開始 10 分前までに入室すること。遅刻の場合は、試験終了時刻まで入室を認める。遅刻や試験中の通信不良等による試験終了時刻の繰り下げ等を行わない（ただし、本人の責めに帰しないと認められる場合、考慮することがある）。

(4) 英語外部検定試験（TOEFL/TOEIC/IELTS）を利用した試験科目「英語」の実施要領について

1. 試験の方法と注意事項

- 試験科目「英語」は、TOEFL/TOEIC/IELTS スコアを次項「2. 換算方法」に従って換算することにより採点する。
- 本試験で有効とする外部検定試験の種別、受験年月日、及びスコアシート原本の提出方法については、募集要項の「6. 提出書類」及び「7.2（選抜方法等）都市環境学専攻」を参照すること。
- 入試までに開催される TOEFL/TOEIC/IELTS の試験は、回数が限られている。これから受験する者は試験開催日程に注意すること。
- TOEFL/TOEIC/IELTS に関する詳細については下記ホームページを参照するか、各試験の実施機関に問い合わせること。

TOEFL: <https://www.toefl-ibt.jp/>

TOEIC: <https://www.iibc-global.org/toeic.html>  
IELTS: <https://www.eiken.or.jp/ielts/>  
<https://berkeleyhouse.co.jp/ielstestcentre/>  
<https://jsaf-ieltsjapan.com/>

## 2. 換算方法

(a) TOEFL iBT (Home Edition を含む)からの換算は、上限 300 点 (A 日程) あるいは 200 点 (C 日程)、下限 0 点として以下の式を用いる。

A 日程 : TOEFL iBT スコア  $\times 4.38 - 125 =$  換算点

C 日程 : TOEFL iBT スコア  $\times 2.92 - 83 =$  換算点

(b) TOEIC からの換算は、上限 300 点 (A 日程) あるいは 200 点 (C 日程)、下限 0 点として以下の式を用いる。

A 日程 : TOEIC スコア  $\times 0.522 - 156 =$  換算点

C 日程 : TOEIC スコア  $\times 0.348 - 104 =$  換算点

(c) IELTS からの換算は、一般的に用いられる換算表に基づいて TOEFL iBT に換算 (幅で示されている換算点数の中間値を用いる) した後、(a)の方法を適用する。

(d) 以上の換算方法は、今回の試験においてのみ適用されるものとする。

## (5) 面接 (一般選抜)

持続発展学コースの全教員による面接である。詳細については、試験当日配布する資料を確認の上、指示に従うこと。

## (6) 書類審査 (留学生特別選抜及び社会人特別選抜)

募集要項「6. 提出書類」を確認の上、これに従うこと。特に、「エッセイ」, 「受賞歴, 学会発表・発表論文リスト, 業績書等」の提出が必要である点に注意されたい。

## (7) 入学定員

都市環境学専攻の募集人員は「学生募集要項」の記載のとおりであるが、持続発展学コースには約 33 名まで入学が可能である。

## (8) 過去の入試問題の公表

過去の入試問題は、下記研究科ホームページより入手可能である。

[https://www.env.nagoya-u.ac.jp/admission/design\\_exam.html](https://www.env.nagoya-u.ac.jp/admission/design_exam.html)

持続発展学コースの入試情報については下記も参照されたい。

<https://sd.urban.env.nagoya-u.ac.jp/main/ja/exam/> (持続発展学コース入学案内)

## 2.2 建築学コース

### (1) 試験のスケジュールと試験場

A日程及びB日程にて実施する。

なお、A日程の一般選抜（自己推薦入試）で合格し、本学に入学した者に対して修了時に授与される学位は修士（環境学）であり、修士（環境学）としての修了要件を満たすことが求められる。

#### ① A日程

A日程の受験は、一般選抜（自己推薦入試）の志願者のうち、志願票とともに提出した自己推薦書をもとに行われる書類審査の結果、口述試験の受験を認められた者に限られる。

日付	時間	一般選抜（自己推薦入試）	試験場
2022年 8月5日（金）	13:00-	試験場集合	環境総合館1階レクチャーホール （注1）
	13:30-17:30	口述試験	同上

#### ② B日程

日付	時間	一般選抜 （普通入試）	留学生特別選抜	社会人特別選抜	試験場
2022年 8月18日 （木）	13:00-	試験場集合		試験場集合	環境総合館3階 講義室2と講義室 3（注1）／ 「計画系・設計製 図」は環境総合館 1階レクチャーホ ール（注2）
	13:30-18:40	筆記試験 （専門科目Ⅰ 「計画系・設計 製図」）		筆記試験 （専門科目Ⅰ 「計画系・設計 製図」）	
	13:30-17:30	筆記試験 （専門科目Ⅰ 「環境系」「構造 系」）		筆記試験 （専門科目Ⅰ 「環境系」「構 造系」）	
2022年 8月19日 （金）	9:00-12:00	筆記試験 （専門科目Ⅱ）			環境総合館3階 講義室2と 講義室3（注1）
	13:30-（注3）	面接		面接	環境総合館3階 講義室2と 講義室3（注1）
2022年 8月20日 （土）	9:00-12:00		口述試験 （専門科目Ⅰ）		別途指示（注4）
	13:30-（注3）		面接		別途指示（注4）

（注1）受験者の人数が多い場合は、試験場を変更することもある。その場合は、別途通知する。

（注2）「計画系・設計製図」を選択した受験者は、13:00に環境総合館1階レクチャーホールに集合すること。

（注3）受験者の人数によっては、面接開始時刻や終了時刻が変更になることもある。集合時刻、集合場所や面接開始時刻については、後日通知する。

（注4）Microsoft Teams または Zoom を用いてオンラインで実施する。実施方法の詳細は別途通知する。

### (2) 試験内容について

出題範囲などについては、別記2「名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻（建築学コース）2023

年度博士前期課程入学試験（第Ⅰ期）学力検査出題範囲」を参照のこと。

1) 口述試験 [一般選抜（自己推薦入試）]

試験は口頭試問とする。受験者は志願票とともに提出したこれまでの学修等活動の内容と入学後の学修や研究等に関して記した自己推薦書をもとに、これまでの研究や活動等の内容や入学後の計画を口頭発表し、その内容に関して質疑応答を行う。受験者一人当たりの時間は、口頭発表 30 分、質疑応答 30 分の計 1 時間を予定している。

2) 面接 [一般選抜（普通入試）、留学生特別選抜、社会人特別選抜]

建築学コースの教員による面接を行う。主として、入学後の学修、研究計画及びそれに関連する事項について試問する。

3) 過去の入試問題の公表

過去の問題については下記の環境学研究科ホームページに公表されている。

[http://www.env.nagoya-u.ac.jp/admission/design\\_exam.html](http://www.env.nagoya-u.ac.jp/admission/design_exam.html)

(3) 受験上の注意

1) 受験票を必ず携帯し、試験中は常に机の上に提示すること。

2) 各試験とも、試験開始前ないし定められた集合時間に試験場または指定場所（オンライン指定場所も含む）に集合すること。なお、試験場で実施する各筆記試験においては、試験開始 30 分後までの入室を認める。試験場で実施する面接においては、集合時間に遅れた場合は失格となる。オンラインで実施する口述試験及び面接においては、集合時間に遅れた場合に失格となることがある。

3) 各試験においては、鉛筆及びその相当物、消しゴム、鉛筆削り、図などを描くために使用する簡単な定規以外は一切使用してはならない。ただし、筆記試験（専門科目Ⅰ）の計画系・設計製図の設計製図の試験においては、下記 6) ii) に記載した用具も使用することができる。

4) 時計などのアラームや携帯電話などの通信機器の電源は、あらかじめ切っておくこと。

5) 試験会場で使用が不適切と判断されたものに関しては、その場で使用を禁ずることがある。

6) 各試験科目に関する受験上の注意事項は下記の通りである。

i) 筆記試験（専門科目Ⅰ）[一般選抜（普通入試）、社会人特別選抜]

(1) 計画系・設計製図、(2) 環境系（設備・環境）及び(3) 構造系（構造・材料）の 3 分野から 1 分野を選択し解答する。分野の選択方法及び提出期限については後日指示する。

ii) 筆記試験（専門科目Ⅰ）の「計画系・設計製図」に関する注意事項

・ 最初の 1 時間に計画系（歴史・意匠・建築計画・都市計画など）の試験を行い、10 分間の準備時間の後に 4 時間の設計製図の試験を行う。計画系の試験は 5 問から 2 問を選択して解答する筆記試験であり、設計製図の試験は即日設計による実技試験である。なお、計画系と設計製図の配点比率は 3 : 7 である。

・ 設計製図の試験における図面作成はすべて手書きによる。コンピューター、ワープロなどの利用や切貼り、貼込みは認めない。

・ 設計製図の試験用紙は A1 版のホワイトケント紙である。

・ 試験会場に用意された製図板、平行定規及び設計製図の試験用紙とエスキス用紙を用いて図面を作成すること。

・ 設計製図の試験においては、当該の試験において認められた筆記具などの他、図面作成に必要なスケール、着色用具などの一般的製図用具及び卓上計算機の使用を認める。なお、使用できる着色用具は黒鉛筆、色鉛筆、インキングペン、マーカーペンに限る。

iii) 口述試験（専門科目Ⅰ）[留学生特別選抜]に関する注意事項

・ 受験者には、別途、希望研究テーマ・内容に関する書類の提出を求める。提出方法及び提出期限

については後日指示する。

- ・ 提出書類の記載内容、及び建築学の (1) 計画系 (意匠・計画・歴史)、(2) 環境系 (設備・環境)、(3) 構造系 (構造・材料) の 3 分野のうち、いずれか 1 分野に関する事項について日本語で試問する。受験者は、パソコン・タブレットなどによって、Microsoft Teams または Zoom の映像と音声とともに利用でき、他者が同席しない任意の場所 (自宅の個室等) で受験できるよう準備すること。

(4) 英語外部検定試験 (TOEFL/TOEIC/IELTS) を利用した試験科目「英語」の実施要領について

- (a) TOEFL/TOEIC/IELTS のスコアシートは、原則として出願書類提出時にその原本を同封するものとする。原本を提出しない場合は、試験科目「英語」の点数が零点になるので十分に留意すること。
- (b) 今回の試験で有効とする外部検定試験の種別、受験年月日、及びスコアシート原本の提出方法については、募集要項の「6.提出書類」及び「7.2 (選抜方法等) 都市環境学専攻」を参照すること。
- (c) 入試までの間に開催される TOEFL/TOEIC/IELTS の試験は、その回数が限られている。これから TOEFL/TOEIC/IELTS を受験する者は試験開催日程に注意すること。
- (d) TOEFL/TOEIC/IELTS に関する詳細は下記のホームページを参照するか、各試験の実施機関に問い合わせること。

TOEFL: <https://www.toefl-ibt.jp/>

TOEIC: <http://www.iibc-global.org/toeic.html>

IELTS: <http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html>  
<https://berkeleyhouse.co.jp/ielstestcentre/>  
<https://jsaf-ieltsjapan.com/>

換算方法

- (a) TOEFL (PBT) からの換算は、657 点以上を満点に相当する 200 点、350 点以下を 0 点として、TOEFL (PBT) スコアが 657~350 点の場合、以下の式を用いる。

$$\frac{\text{TOEFL (PBT) スコア} - 350}{(657 - 350)} \times 200 = \text{換算点}$$

- (b) TOEFL iBT (Home Edition を含む) からの換算は、一般的に用いられる換算表に基づいて TOEFL (PBT) に換算した後、(a)の方法を適用する。
- (c) TOEIC からの換算は、以下の式を使用して TOEFL (PBT) に換算した後、(a)の方法を適用する。  
TOEIC スコア  $\times 0.348 + 296 =$  TOEFL (PBT) スコア
- (d) IELTS からの換算は、一般的に用いられる換算表に基づいて TOEFL (PBT) に換算 (幅で示されている換算点数の中間値を用いる) した後、(a)の方法を適用する。
- (e) 以上の換算方法は、今回の試験のみ適用されるものとする。

(5) 入学定員

都市環境学専攻の募集人員は「学生募集要項」の記載のとおりであるが、建築学コースには約 35 名まで入学が可能である。なお、A 日程での合格者は若干名である。

(6) 指導希望教員及び筆記試験 (専門科目 I) 受験分野の申告について

受験者は、別ファイル「指導教員および教育研究内容の一覧」を参照の上、記載されている建築学コースの教員から指導を希望する教員を選び、その氏名を後日連絡される指示に従い申告すること。第 2 希望の指導教員まで申告することができる。また、一般選抜 (普通入試)・留学生特別選抜・社会人特別選抜受験者は、専門科目 I の受験分野を選択し、申告すること。受験分野の選択方法及び提出期限については後日指示する。

### 3. 博士後期課程の案内

#### 3.1 持続発展学コース

##### (1) 試験のスケジュールと試験場

以下に示す日程で実施する。

###### 一般選抜 (A 日程)

日付	時間	試験科目 (試験方法)	試験場
2022年8月8日 (月)	9:30-11:30	専門科目 (筆記試験)	環境総合館3階講義室1
	13:00-16:00	口述試験 (対面口述)	試験当日指示する
	16:30-	面接	試験当日指示する

###### 留学生特別選抜 (A 日程)

日付	時間	試験科目 (試験方法)	試験場
2022年8月5日 (金) ~8月12日 (金)	9:00-18:00 (個別実施)	専門科目 (オンライン口述)	

###### 社会人特別選抜 (A 日程)

日付	時間	試験科目 (試験方法)	試験場
2022年8月5日 (金) ~8月12日 (金)	9:00-18:00 (個別実施)	口述試験 (オンライン口述)	

##### (2) 受験に際しての注意事項

###### 【出願前の内諾手続き及び試験分野の設定等について】

- ・ 受験者は、別ファイル「指導教員および教育研究内容の一覧」を参照の上、持続発展学コースの教員から希望指導教員を1名選び、その氏名を志願理由書の「指導教員名」欄に記入すること。なお、博士後期課程を受験する者は、必ず出願前に希望指導教員に連絡をとり、受験の内諾を得た上で出願すること。
- ・ 出願書類及び希望指導教員との連絡状況にもとづき、一般選抜及び留学生特別選抜における専門科目の試験分野（3分野）を設定する。社会人特別選抜における口述試験の試験内容については、希望指導教員より個別に通知する。

###### 【対面で実施する試験について】

- ・ 一般選抜を受験する者は、試験場に試験開始30分前までに入室すること。遅刻の場合、A日程の専門科目は試験開始60分後まで入室を認める。ただし、遅刻が本人の責めに帰さない場合は、入室や試験終了時刻の繰り下げを認めることがある。なお、試験終了時刻前の退室（早退）は認めない。口述試験及び面接については遅刻を認めない。
- ・ 一般選抜の筆記試験に際しては、黒鉛筆（シャープペンシル）・消しゴム・鉛筆削り・時計以外を使用してはならない。辞書等（電卓あるいは辞書機能付き携帯電話・時計等も含む）は使用できない。電卓に関しては、試験に必要な場合のみ大学側で準備する。

###### 【オンラインで実施する試験について】

- ・ オンライン試験を受験する者の試験日時、試験方法等の詳細については、入試担当者もしくは希望指導教員より連絡する。
- ・ オンライン試験を受験する者は、指示されたオンライン試験会場の待機室に試験開始10分前までに入室

すること。遅刻の場合、試験終了時刻まで入室を認める。遅刻や試験中の通信不良等による試験終了時刻の繰り下げ等を行わない（ただし、本人の責めに帰しないと認められる場合、考慮することがある）。

### (3) 英語外部検定試験（TOEFL/TOEIC/IELTS）を利用した試験科目「英語」の実施要領について

#### 1. 試験の方法と注意事項

- (a) 試験科目「英語」は、TOEFL/TOEIC/IELTS スコアを次項「2. 換算方法」に従って換算することにより採点する。
- (b) 本試験で有効とする外部検定試験の種別、スコアシート原本、受験年月日、及び提出方法については、募集要項「6. 提出書類」及び「7.2（選抜方法等）都市環境学専攻」を参照すること。
- (c) 入試までに開催される TOEFL/TOEIC/IELTS の試験は、回数が限られている。これから受験する者は試験開催日程に注意すること。
- (d) TOEFL/TOEIC/IELTS に関する詳細については下記ホームページを参照するか、各試験の実施機関に問い合わせること。

TOEFL: <https://www.toefl-ibt.jp/>

TOEIC: <https://www.iibc-global.org/toeic.html>

IELTS: <https://www.eiken.or.jp/ielts/>

<https://berkeleyhouse.co.jp/ielstestcentre/>

<https://jsaf-ieltsjapan.com/>

#### 2. 換算方法

- (a) TOEFL iBT (Home Edition を含む)からの換算は、上限 300 点、下限 0 点として以下の式を用いる。

$$\text{TOEFL iBT スコア} \times 4.38 - 125 = \text{換算点}$$

- (b) TOEIC からの換算は、上限 300 点、下限 0 点として以下の式を用いる。

$$\text{TOEIC スコア} \times 0.522 - 156 = \text{換算点}$$

- (c) IELTS からの換算は、一般的に用いられる換算表に基づいて TOEFL iBT に換算（幅で示されている換算点数の中間値を用いる）した後、(a)の方法を適用する。
- (d) 以上の換算方法は、今回の試験においてのみ適用されるものとする。

#### (4) 口述試験・面接（一般選抜）

口述試験・面接の控室、開始時間等の詳細については、試験当日配布する資料を確認の上、指示に従うこと。なお、面接は持続発展学コースの全教員による面接である。

#### (5) 書類審査（留学生特別選抜及び社会人特別選抜）

募集要項「6. 提出書類」を確認の上、これに従うこと。特に、「研究計画書」、「受賞歴、学会発表・発表論文リスト、業績書等」の提出が必要である点に注意されたい。



### 3.2 建築学コース

#### (1) 試験のスケジュールと試験場

○第1次選考：B日程にて実施する。

日付	時間	一般選抜	留学生特別選抜	社会人特別選抜
2022年 8月18日(木)	10:00-12:00	口述試験 (注1)	口述試験 (注1)	口述試験 (注1)
	13:00-	試験場集合： 環境総合館3階 講義室2と講義室3 (注2)		
	13:30-16:30	筆記試験 (専門科目)		
2022年 8月19日(金)	9:00-12:00	口述試験 (注1)	/	面接： 環境総合館3階 講 義室2と講義室3 (注2)
	13:30- (注3)	面接： 環境総合館3階 講義室2と講義室3 (注2)		
2022年 8月20日(土)	13:30- (注3)	/	面接(注4)	/

(注1) 口述試験はいずれかの時間帯で実施する。一般選抜と社会人特別選抜の試験場は、後日通知する。

留学生特別選抜は、Microsoft Teams または Zoom を用いてオンラインで実施する。

(注2) 受験者の人数が多い場合は、試験場を変更することもある。その場合は、指導希望教員より通知する。

(注3) 受験者の人数によっては、面接開始時刻や終了時刻が変更になることもある。集合時刻、集合場所や面接開始時刻については、後日通知する。

(注4) Microsoft Teams または Zoom を用いてオンラインで実施する。実施方法の詳細は別途通知する。

#### ○第2次選考

出願資格(1)~(4)により出願した者のうち、出願時に修士の学位を有していない第1次選考合格者を対象として、修士論文の内容について口述試験を行う。

第2次選考に関する詳細は第1次選考合格者に別途通知する。

- ・第2次選考期日           2023年2月
- ・第2次選考合格発表    2023年3月

#### (2) 試験内容について

志願者は指導希望教員にあらかじめ連絡を取り、受験科目について指示を受けること。

##### 1) 筆記試験(専門科目)[一般選抜]

志望する専門分野の筆記試験である。

##### 2) 口述試験

希望する指導教員を中心とする建築学コースの教員により、これまでの研究内容及び後期課程での研究計画に関連する事項について試問を行うとともに、専門に関する能力について口述による試験を行う。

### 3) 面接

建築学コースの教員により、これまでの研究内容及び後期課程での研究計画に関連する事項について試問する。

### (3) 英語外部検定試験 (TOEFL/TOEIC/IELTS) を利用した試験科目「英語」の実施要領について

- (a) TOEFL/TOEIC/IELTS のスコアシートは、原則として出願書類提出時にその原本を同封するものとする。原本を提出しない場合、試験科目「英語」の点数が零点になるので十分に留意すること。なお、英語を母語とする者については、TOEFL/TOEIC/IELTS のスコアシート原本の提出を免除し、口述試験と面接試験の結果に基づき試験科目「英語」の採点を行うので、2022年6月24日(金)までに指導希望教員に連絡すること。
- (b) 今回の試験で有効とする外部検定試験の種別、受験年月日、及びスコアシート原本の提出方法については、募集要項の「6.提出書類」及び「7.2(選抜方法等)都市環境学専攻」を参照すること。
- (c) 入試までの間に開催される TOEFL/TOEIC/IELTS の試験は、回数が限られている。これから TOEFL/TOEIC/IELTS を受験する者は試験開催日程に注意すること。
- (d) TOEFL/TOEIC/IELTS に関する詳細は下記のホームページを参照するか、各試験の実施機関に問い合わせること。

TOEFL: <https://www.toefl-ibt.jp/>

TOEIC: <http://www.iibc-global.org/toEIC.html>

IELTS: <http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html>  
<https://berkeleyhouse.co.jp/ieltestestcentre/>  
<https://jsaf-ieltsjapan.com/>

### 換算方法

- (a) TOEFL(PBT)からの換算は、657点以上を満点に相当する200点、350点以下を0点として、TOEFL(PBT)スコアが657~350点の場合、以下の式を用いる。
$$\frac{\text{TOEFL (PBT) スコア} - 350}{(657 - 350)} \times 200 = \text{換算点}$$
- (b) TOEFL iBT(Home Edition を含む)からの換算は、一般的に用いられる換算表に基づいて TOEFL(PBT)に換算した後、(a)の方法を適用する。
- (c) TOEIC からの換算は、以下の式を使用して TOEFL (PBT) に換算した後、(a)の方法を適用する。
$$\text{TOEIC スコア} \times 0.348 + 296 = \text{TOEFL (PBT) スコア}$$
- (d) IELTS からの換算は、一般的に用いられる換算表に基づいて TOEFL (PBT) に換算(幅で示されている換算点数の中間値を用いる)した後、(a)の方法を適用する。
- (e) 以上の換算方法は、今回の試験のみ適用されるものとする。

### (4) 受験上の注意

- 1) 受験票を必ず携帯し、試験中は常に机上に提示すること。
- 2) 各試験とも、試験開始前ないし定められた集合時間に試験場または指定場所(オンライン指定場所も含む)に集合すること。なお、試験場で実施する各筆記試験においては、試験開始30分後までの入室を認める。試験場で実施する口述試験及び面接においては集合時間に遅れた場合は失格となる。オンラインで実施する口述試験及び面接においては、集合時間に遅れた場合に失格となることがある。
- 3) 各試験においては、鉛筆及びその相当物、消しゴム、鉛筆削り、図などを描くために使用する簡単な定規以外は一切使用してはならない。
- 4) 時計などのアラームや携帯電話などの通信機器の電源は、あらかじめ切っておくこと。

- 5) 試験会場で使用が不適切と判断されたものに関しては、その場で使用を禁ずることがある。
- 6) 留学生特別選抜の受験者は、パソコン・タブレットなどによって、Microsoft Teams または Zoom の映像と音声とともに利用でき、他者が同席しない任意の場所（自宅の個室等）で受験できるよう準備すること。

#### **(5) 入学定員**

「学生募集要項」の記載では、都市環境学専攻の募集人員は 21 名であるが、建築学コースには約 10 名まで入学が可能である。

#### **(6) 指導希望教員の申告**

受験者は、別ファイル「指導教員および教育研究内容の一覧」を参照の上、記載されている建築学コースの教員から指導を希望する教員を 1 名選び、その氏名を後日連絡される指示に従い、申告すること。

### **3.3 2022 年度および 2023 年度の指導教員・教育研究内容の一覧**

○別ファイルを参照のこと。

## 名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻（持続発展学コース）

2023 年度 博士前期課程入学試験（第 I 期）学力検查出題範囲

## A 日程（一般選抜・留学生特別選抜・社会人特別選抜）

科目名		主な出題範囲
分野	解答形式	
英語		<p>【全ての選抜】</p> <p>TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアを提出する。</p>
専門科目	環境工学・環境政策	<p>【一般選抜】</p> <p>環境工学・環境政策から 3 問，環境化学から 2 問，合計 5 問が出題されるので，3 問を選択して解答する。（1 分野のみから選択してもよい）</p>
	環境化学	<p>【留学生特別選抜】</p> <p>受験生は 3 問分の「分野」を選択する。環境工学・政策は最大 3 問分，環境化学は最大 2 問分選択可能である。</p>
小論文		<p>【一般選抜】</p> <p>1 問が出題される。</p>

※ 持続発展学コースの A 日程は，文系を含めた幅広い分野の出身者が受験できるよう配慮しています。

※ 留学生特別選抜，社会人特別選抜は，上記のほかに「書類審査」があります。

## C 日程 (一般選抜のみ)

科目名		主な出題範囲
分野	解答形式	
英語		TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアを提出する。
専門科目	構造・材料工学	「構造・材料工学」より3問, 「地盤工学」, 「水工学」, 「計画学」, 「環境工学」の4分野よりそれぞれ2問出題するので, 5問を選択して解答する。1つの分野から選択可能な問題は2問までとする。
	地盤工学	
	水工学	
	計画学	
	環境工学	
基礎科目	小論文	社会・経済および環境問題などに関する小論文で, 主としてその論理性を問う。
	応用数学	微分・積分, ベクトル解析, 行列と行列式, および確率・統計の基礎的事項ならびに工学への応用

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻（建築学コース）  
2023年度 博士前期課程入学試験（第Ⅰ期）学力検查出題範囲

## A 日程（建築学コース [自己推薦入試]）

科目／分野	解答形式	主な出題範囲
英語	TOEFL/TOEIC/ IELTS スコアシート 原本を提出する。	提出されたスコアから、英語に関する基礎的能力を評価する。
口述試験 (自己推薦入試)	口頭発表と発表内容 に関する質疑応答。	これまでの学習等活動の内容と入学後の学習や研究等に関する 内容を問う。

## B 日程（建築学コース [普通入試]）

科目／分野	解答形式	主な出題範囲
英語	TOEFL/TOEIC/ IELTS スコアシート 原本を提出する。	提出されたスコアから、英語に関する基礎的能力を評価する。
専門科目Ⅰ	計画系・ 設計製図	計画系では、西洋・日本建築史、近代建築史、建築意匠、建築 計画（各種建物）、建築構法、人間工学、都市計画、建築社会シ ステムなどに関する専門的内容を問う。 設計製図では、基本設計程度をまとめるのに必要な建築学の全 般的知識を問う。
	環境系	建築環境工学（熱環境、空気環境、光環境、音環境）や建築設 備工学（空気調和、給排水、搬送、電気）、人間環境工学（心 理・生理反応、意識）に関する専門的内容を問う問題
	構造系	構造力学、鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造、建築基礎・地盤 工学、構造計画、構造設計法、耐震工学、都市防災、建築材 料、建築施工に関する専門的内容を問う問題
専門科目Ⅱ	選択肢または穴埋め を基本とした解答形 式。	建築学の主要分野である意匠・歴史・計画・設備・環境・構造 ・材料について、大学院での研究分野に関わらず知っておくべき 知識や能力を問う基礎的問題

2023 年度・環境学研究科都市環境学専攻持続発展学コース博士前期課程・博士後期課程  
「名古屋大学国際環境人材育成プログラム」の案内

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻では、工学研究科土木工学専攻と協力して、「名古屋大学国際環境人材育成プログラム」を実施している。本プログラムは、アジア・アフリカ諸国が直面する様々な環境問題の解決を担う次世代の環境リーダーの育成を目的とするものである。

下記の説明および資料を参照の上、参加を希望する場合には、必要な手続きをとること。

#### 対象学生

博士前期課程・博士後期課程に入学する留学生および日本人学生

#### プログラムの概要

※ 詳細については、ホームページ (<https://www.civil.nagoya-u.ac.jp/nugelp/index.html>) を参照のこと。

- ・ 地球環境問題や持続可能な開発問題を対象に、事象の理解、対策技術の理解・修得、制度設計・政策運営の能力獲得のための教育を実施する。講義等は英語で行う。
- ・ グローバル研究インターンシップを必修科目とする。旅費等の援助については指導教員と相談すること。
- ・ 留学生と日本人が相互に啓発しあいながら共に学び、国際的コミュニケーション能力を向上させる。
- ・ 博士後期課程の学生は「統合環境学特別コース」に準じたカリキュラムで専門的且つグローバルな視野を培う。
- ・ プログラム所定の学業を修めた学生には、修士学位或いは博士学位に加えて、プログラム修了認定証を授与する。

#### 参加希望から選考、参加までの流れ

- ① 志願調査票のプログラム参加希望に関する欄に、参加希望である旨記入すること。
- ② 入学時に、プログラム専用のガイダンスを実施する。
- ③ 入学者のうち、参加希望者を対象に面接を実施する。入試成績、英語能力、意欲などを総合的に評価して、プログラム学生を選考する。
- ④ プログラムから選考結果を通知する。

※ 選考案内を含むプログラムからの連絡は、基本的にメールで行う。参加希望の受験者は必ず、志願票に確実に受信できるメールアドレスを記載すること。特に入学手続前後は、定期的にメールを確認すること。

#### 注意事項

- ・ プログラムの博士前期課程に所属する学生は、プログラム指定科目（グローバル研究インターンシップ2単位を含む計10単位）を履修することが求められる（学位取得に必要な単位としてカウント可能）。
- ・ プログラムの博士後期課程に所属する学生は、プログラム指定の後期課程の授業科目から、基礎環境学講究1と臨床環境学研修1を含む10単位以上を履修することが求められる。
- ・ プログラム学生は通常の学生と同様に、都市環境学専攻持続発展学コースの教員の中から、自分の専門や興味にあわせて指導教員を自由に希望することができ、それぞれの研究室に所属して専門分野について学びながら、プログラム履修を進める。プログラム参加については、**事前に希望指導教員に相談すること。**
- ・ プログラムが提供する科目は一部を除いて開放されている。したがって、プログラム参加学生以外の一般学生も受講可能である。

問い合わせ先：名古屋大学国際環境人材育成プログラム（NUGELP）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町D 2-1(150) 名古屋大学環境総合館223号室

E-mail: envleaders@urban.env.nagoya-u.ac.jp

# 社会環境学専攻

## 1. 社会環境学専攻の分野，出願に当たっての注意

### 1.1 社会環境学専攻の分野，出願に当たっての注意

社会環境学専攻は、それぞれカリキュラムの異なる5講座によって構成されています。学生は、それらの各講座のいずれかに所属し、指導教員の指導の下で修士論文または博士論文を作成することになります。所定単位を履修し、修士論文ないし博士論文の試験に合格すると、修士または博士の学位を取得できます。社会環境学専攻で取得できる修士ないし博士の種類は環境学・経済学・法学・社会学・地理学のいずれかで、それぞれ単位取得の要件が異なります。各講座の説明については、社会環境学専攻のホームページをご覧ください。

(<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/dept/society.html>)

また、過去の入試問題は、環境学研究科のホームページの「入試」をご参照ください。

(<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/admission/index.html>)

環境政策論，経済環境論，環境法政論，社会学，地理学の5つの分野で学生を募集します。各分野は各講座にそれぞれ対応します。社会環境学専攻の受験にあたっては、それらから志望する分野（あるいは指導を希望する教員）を1つ選ばなければいけません。第2志望分野の募集は行っていません。

入学後、指導教員とよく相談して学修・研究計画を立てる必要がありますので、どの分野を志望するか、どの教員の指導を希望するかということについて、受験前によく検討しておくことが必要です。

なお各教員の教育研究内容を別ファイルに掲げておきますので、検討の際に参考にしてください。とくに指導を希望する教員が決まっている場合、あるいは教育研究内容について質問がある場合は、受験前に、各教員まで遠慮なく連絡してください。

別ファイルで\*印が付いている教員を指導教員として希望する場合は、志願理由書の「指導教員名」欄に教員名だけでなく志望分野名を明記するようにしてください。

### 1.2 2022年度および2023年度の指導教員・教育研究内容の一覧

○別ファイルを参照のこと。

## 2. 入学試験について

社会環境学専攻の入学試験は、大きく、筆記試験と口述試験とから構成され、筆記試験は各分野の専門内容に関する問題を出題します。自己推薦入試および後期課程の社会人特別選抜については、口述試験のみが課されます。また、前期課程の一般選抜、留学生特別選抜では、英語試験を行います。英語試験は、提出された英語外部検定試験（TOEFL/TOEIC/IELTS）のスコアシートをもとに採点します。

筆記試験では、それぞれ入学志望分野の出題に解答しなければいけません。試験時間、各分野の出題範囲、その他の注意事項などについては、学生募集要項をご覧ください。なお口述試験は、基本的に分野ごとに行われます。

筆記試験などの試験会場については、後日、E-Mail等で受験生本人に直接通知されます。なお、筆記試験と口述試験は名古屋大学内の試験会場で受験する対面式で行う予定ですが、COVID-19の感染状況によっては、オンライン方式を採用する可能性もあります。必ず、環境学研究科のホームページで入試情報を確認してください。また、受験のために渡日できない留学生がいる場合、オンライン方式で対応します。その場合には研究科HPおよびE-Mail等で通知します。

指導を希望する教員が決まっている場合、あるいは研究したい内容や教員の教育研究内容について質問がある場合は、受験前に各教員に連絡するようにしてください。特に、留学生の場合は、必ず指導希望教員に事前



に連絡をしてください。

### 3. 前期課程の入学試験（一般選抜、留学生特別選抜）における英語外部検定試験（TOEFL/TOEIC/IELTS）の利用について

#### 1. 試験の方法と注意事項

- (a) TOEFL/TOEIC/IELTS のスコアシートは、原本を提出するものとします。原本を提出しない場合、試験科目「英語」の点数が零点になりますので十分に留意してください。
- (b) 試験科目「英語」は、TOEFL/TOEIC/IELTS スコアを次項「2. 換算方法」に従って換算することにより採点します。
- (c) 本試験で有効とする外部検定試験の種別、スコアシート原本、受験年月日、及び提出方法については、募集要項「6. 提出書類」及び「7.3（選抜方法等）社会環境学専攻」を参照してください。
- (d) 入試までに開催される TOEFL/TOEIC/IELTS の試験は、回数が限られています。これから受験する者は試験開催日程に注意してください。
- (e) TOEFL/TOEIC/IELTS に関する詳細については下記ホームページを参照するか、各試験の実施機関に問い合わせてください。

TOEFL: <https://www.toefl-ibt.jp/>

TOEIC: <https://www.iibc-global.org/toeic.html>

IELTS: <https://www.eiken.or.jp/ielts/>

<https://berkeleyhouse.co.jp/ielstestcentre/>

<https://jsaf-ieltsjapan.com/>

#### 2. 換算方法

- (a) TOEFL iBT(Home Edition を含む)からの換算は、Educational Testing Service が公表している Total Score Comparisons に基づいて TOEFL (PBT) に換算（幅で示されている換算点数の中間値を用いる）した後、(d)の方法を適用します。

[https://www.kuleuven.be/english/admissions/lang/TOEFL\\_iBT\\_Score\\_Comparison\\_Tables.pdf](https://www.kuleuven.be/english/admissions/lang/TOEFL_iBT_Score_Comparison_Tables.pdf)

- (b) TOEIC からの換算は、以下の式を使用して TOEFL (PBT) に換算した後、(d)の方法を適用します。

$$\text{TOEIC スコア} \times 0.348 + 296 = \text{TOEFL (PBT) スコア}$$

- (c) IELTS からの換算は、一般的に用いられている換算表に基づいて TOEFL (PBT) に換算（幅で示されている換算点数の中間値を用いる）した後、(d)の方法を適用します。

参考：<https://au-ryugaku.com/comparison-table/>

- (d) TOEFL (PBT) からの換算は、657 点以上を満点に相当する 100 点、350 点以下を 0 点とします。TOEFL (PBT) スコアが 657～350 点の場合、以下の式を用います。

$$\frac{\text{TOEFL (PBT) スコア} - 350}{(657 - 350)} \times 100 = \text{換算点}$$

- (e) 以上の換算方法は、今回の試験のみ適用されるものとします。

## 統合環境学特別コースの案内

グローバル COE プログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」（2009 年度～2013 年度）を契機に、統合環境学特別コースが 2010 年度から環境学研究科の博士後期課程に設置された。この特別コースは生命農学研究科生物圏資源学専攻にも設置され、共同で授業や研究指導を行っている。以下で、環境学研究科に入学・進学を予定されている方を対象に統合環境学特別コースについて説明する。

1. 本特別コースは、環境学研究科の博士後期課程の各専攻（履修コース）に入学または進学する者が、各自の専攻・履修コースのカリキュラムに加えて、本人の希望により選択するものである。
2. 希望者は志願調査票の所定欄に ✓ を記入すること。
3. 主旨は専門分野の勉強・研究だけでなく、診断的分野と治療的分野をつなぐ臨床環境学・基礎環境学に積極的に参画して視野を広げようとする学生を育てることにある。
4. 修了要件：後期課程の授業科目から、臨床環境学研修 1（2 単位）と基礎環境学講究 1（2 単位）を含む 10 単位以上を履修すること。学位論文に関する研究指導は必修とする。修了に必要な単位数が、通常の専攻・履修コースより多いことに注意すること。
5. 学位は、各自の所属する専攻・履修コースでの取り扱いに従って審査・授与される。
6. 本特別コースの修了者には学位とは別に修了証を発行する。
7. 統合環境学特別コースに関連した後期課程授業は次の通りである。いずれも、研究科共通科目である。
  - (ア) 臨床環境学研修 1, 2（各 2 単位）国内のフィールドにおいて、診断と治療の双方の教員・学生から成るチームが、問題特定から解決策の策定までの実践的な研修を進める。
  - (イ) 基礎環境学講究 1, 2（各 2 単位）臨床環境学を支える体系としての基礎環境学を構築するため、環境の描像、診断と治療の方法、及び研究・実践の理念・態度に関して教員・学生双方で発表し、共有する。